

令和7年度 衣笠愛児園 職員自己評価

◎対象者：24名（保育士・栄養士・調理師・事務員）

◎評価基準： A…良くてできている B…ほぼ出来ている C…努力が必要

◎評価方法：個人で評価を行い、その結果を元にクラス単位で話し合い各項目毎の評価を行った

1、保育理念

	評価基準	A	B	C	未回答
1-1	・すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	16	8		
1-2	・子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが重要だと理解していますか。	19	5		
1-3	・人権に十分配慮するとともに文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。	17	7		
1-4	・一人ひとりのありのままの姿を受け入れることができますか。	14	10		
1-5	・適切でない対応をしている他の職員の行為を目にした時、助言ができますか。	3	13	7	1
1-6	・子どもの様々なサインを見逃さずに、子どもの求めている援助が出来ますか。	6	14	2	2
1-7	・子どもの中に、人を信頼する気持ちが育つような関わりをしていますか。	14	9		1
1-8	・保育計画が保育の基本方針に基づき、更に地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成していますか。	7	13	2	2
1-9	・指導計画の評価結果に基づき、指導計画を改定していますか。	4	10	3	7
1-10	・一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっていますか。	8	8	1	7
1-11	・一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合う為の場をクラスで定期的かつ必要に応じて開催していますか。	8	11	1	4
1-12	子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると意識して保育をしていますか。	12	10	1	1
1-13	日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。	17	6		1
1-14	子どもや家庭についての秘密を正当な理由なく漏らさないようにしていますか。	19	5		
1-15	子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。	15	6		3
1-16	一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができますか。	6	13	2	3

《1の評価》

・ほとんどの職員が「子どもの人権を尊重」「最善の利益を考慮する」事を意識して保育に取り組み子どもたちが安心して過ごせるようしているが、保育計画についてや子どもの発達状況において職員個人が子どもの特性や発達に関する知識を学び身につけ職員間で話し合う時間を設けていくことの必要性も感じる職員もいた。

2、子どもの発達援助・養護

	評価基準	A	B	C	未回答
2-1	・子どもが安心して自分をゆだねられる存在となっていますか。	8	13		3
2-2	・子ども一人ひとりの発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育を行っていますか。	9	14		1
2-3	・保育の主役は子どもであることを常に心に留めていますか。	20	4		
2-4	・子どもの要求をその都度受け止めて対応していますか。	9	12	1	2
2-5	・子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、穏やかに話しをしていますか。	13	10	1	
2-6	・子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしていますか。	17	7		
2-7	・自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしていますか。	16	8		
2-8	・「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。	5	18	1	
2-9	・登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、状況に応じて抱いたり、優しく声をかけていますか。	14	9	1	
2-10	・「できない」「やって」など言ってくる子どもに対して、その都度気持ちを受け止めて対応していますか。	15	7		2
2-11	・性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮していますか。	16	7		1

《2の評価》

- ・ほとんどの職員は個別に子どもたちの気持ちを受け止めた取り組みができていた。
- しかし、乳児クラスで危険な場面で「だめ」と伝えてしまうことが多い事もあった。必要以上に制止する言葉を使わないようにしていこうと感じた。

3、子どもの発達援助・健康

	評価基準	A	B	C	未回答
3-1	・子どもの生活を24時間の連続したサイクルでとらえ、一日の生活がリズムよくまた無理なく過ごせるように配慮していますか。	9	10	1	4
3-2	・子どもがのびのびとからだを動かせるよう、時間、場所、遊びを確保していますか。	8	12		4
3-3	・保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか。	9	11		4
3-4	・排泄が間に合わなかったときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないように配慮していますか。	10	7	1	6
3-5	・休息時には、安心して心地良い眠りにつけるように配慮していますか。	9	10	1	4
3-6	・衣服の着脱時に、せかしたり、自分でやろうとする気持ちを無視するような行動をとっていませんか。	10	9		5
3-7	・子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着脱の援助について工夫しています。	4	12	2	6
3-8	・休息時間に、眠くない子どもへのどのように配慮をしていますか。	・身体を休める時間は設け、その後は他の部屋で過ごす（幼児）・絵本を読んだり布団で横になれるよう環境を整える（乳児）			
3-9	・子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行っていますか。	13	10		1

《3の評価》

- ・アレルギー対応では、食後の対応を丁寧に行っていた。
- ・幼児では、手洗い・うがいが身につくように声掛けを行い、健康的に過ごせるようにした。又、子どもが理解しやすい説明の仕方や行きやすい環境を作り、今後も引き続き行う事の重要性を感じた。
- ・乳児では、家庭や園での様子を保護者と伝え合い、その情報を職員間で共有していった。

4、子どもの発達援助・食事

	評価基準	A	B	C	未回答
4-1	・食事の前の手洗いなど清潔習慣が身に付くよう援助していますか。	6	13	1	4
4-2	・子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったり、子どもの食べる量を勝手に決めたりしていませんか。	9	12	1	2
4-3	・子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫していますか。	6	15	1	2
4-4	・子どもが育てた野菜などを料理して食べることがありますか。	12	4	5	3
4-5	・季節感のある食材に触れる機会を設けていますか。	19	3		2
4-6	・食事の意欲の少ない子にどのような配慮しているか具体的に記入してください。				
4-7	・食事を楽しむことができる工夫をしていますか。	9	10	2	3
4-8	・手作りおやつ、季節感のある旬の食材、喫食状況に基づいた食事の内容の改善、食育活動全般など工夫をしていますか。	5	16		3
4-9	・子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携をしていますか。	5	12	1	6
4-10	・食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供していますか。	15	4	3	2
4-11	・食器の材質や形などに配慮していますか。	12	9	1	2
4-12	・日々の献立を保護者に示すと共に、必要に応じて子どもの喫食状況を保護者に知らせていますか。	8	12	1	3
4-13	・嗜好調査や喫食状況に基づき食事内容を改善していますか。	10	9	2	3
4-14	・子どもが配膳や後片付けなど参加できるよう、配慮していますか。	5	3	7	9
4-15	・調理作業をしている場面を子どもたちがみたり、言葉を交わしたり出来るような工夫を行っていますか。	4	4	12	4

《4の評価》

- ・幼児では、何を食われるか、どの位食われるか等その子に合わせて対応し食べる量が増えた時には沢山褒めて喜びを共有した。又食事の姿勢を正しく出来るよう、クラス全体と個別に声をかけた。
- ・乳児では、一人ひとりの発達に合わせて楽しく食べられるように進めていた。又、食育等を生かし季節の食材にふれたり、観察する機会を設けたことで、食に興味を持ち自分から進んで食べられるようになった。
- 離乳食では、一人ひとりの発達に合わせて、子ども達が楽しく食べられるように進めていった。
- ・給食室では、今後も子どもとの関わりをもう少し多く取っていきたい。ほし組の子どもとは給食室に出向いて来た時に会話をすることが日々あるが、給食室から関わる機会は少ないので今後は積極的に関わっていけるようにしたい。

5、子どもの発達援助・人間関係

	評価基準	A	B	C	未回答
5-1	・保育士の言動の一つ一つを、子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか。	19	5		
5-2	・子どもは一人の人格を持った存在として接していますか。	19	5		
5-3	・子どもが保育士や友だちと共に過すことを楽しめるよう配慮していますか。	14	6		4
5-4	・生活の中で、自分で出来たという充実感を味わえるようにしていますか。	13	7		4
5-5	・つまずきや葛藤、けんかなどの経験が成長に欠かせないものととらえ適切に対応していますか。	12	7	1	4
5-6	・異年齢の子どもとの交流が行われていますか。	13	5		6
5-7	・子どもが思ったことを友だちに伝え、相手の思っていることにも気づくよう援助していますか。	6	12	1	5
5-8	・子ども同士がつながりを深めるために、どのような配慮をしているか具体的に記入してください。				
5-9	・子どもが力を合わせて何かをやり遂げる機会をつくっていますか。	3	11	5	5
5-10	・自分が周りの人から大切にされて育ってきたことを知る機会をつくっていますか。	5	12	3	4
5-11	・日常保育の中で、役割分担など工夫して取り組んでいますか。	11	5	2	6

《5の評価》

- ・幼児では、関わり方についてどのような関わりをすれば相手に伝わるのか等丁寧に伝えたことで、友だちとの遊びが更に楽しめるようになった。又、子ども同士のやり取りを見守りつつトラブルの際は両者が納得出来るように介入をしていった。相手の思いを知っていけるように関わり、集団遊びを通して友だちと一緒に遊ぶ楽しさや嬉しさを感じられるようにした。
- ・乳児では、子どもの気持ちを受け止め一人ひとりが自分の思いを表現出来る環境を整えた。友だちとの関わりについても仲立ちや言葉かけをして関わった。

6、子どもの発達援助・環境

	評価基準	A	B	C	未回答
6-1	・子どもが自然現象の不思議に気づけるようにしていますか。	5	15		4
6-2	・子どもが身近な動植物の世話をする中で、生命の尊さに気づくようにしていますか。	2	9	7	6
6-3	・自分の物、他人の物、共同の物の区別に気づき大切に出来るようにしていますか。	3	14	2	5
6-4	・毎日の活動の中で数や量などにふれる機会をつくっていますか。	3	12	2	7
6-5	・社会の出来事について、子どもにわかるように説明できますか。	1	13	4	6
6-6	・子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びができるように工夫していますか。	8	11		5
6-7	・好きな遊びが出来るコーナーが用意されていますか。また、自由に遊べる時間が確保されていますか。	8	8	3	5
6-8	・子どもが自発的に行動出来る環境をどの様につけているのか具体的に記入してください。				

《6の評価》

- ・幼児では、栽培活動を通して植物への興味や世話をする事の楽しさを感じられた。又、子どもたちの要望に耳を傾け出来る事は受け入れていき、色々な教材や道具を用意をし製作を楽しむ環境を作った。
- ・乳児では、子ども達が集中して楽しめるように保育士間で情報交換をしたり、絵本等で数や色等を知る機会を設けた。身近な環境の変化に気づけるような言葉かけを行っていった。

7、子どもの発達援助・言葉

	評価基準	A	B	C	未回答
7-1	・子ども、職員、保護者と心のこもった挨拶を交わしていますか。	20	4		
7-2	・「ありがとう」「ごめんなさい」などの生活に必要な言葉が自然に使えるように保育していますか。	16	6		2
7-3	・一人ひとりの子どもをよく観察し、その場に適した言葉がけをしていますか。	12	11		1
7-4	・正しい言葉遣いや声の大きさに配慮して子どもに話しかけていますか。	13	10	1	
7-5	・話し合いの時にはどの子も自分の意見を言えるように配慮していますか。	5	11	3	5
7-6	・人の話をじっくりと聞き、その内容を理解することの大切さを子どもに伝えていきますか。	5	11	4	4
7-7	・言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるような読み聞かせ方をしていますか。	6	13	1	4
7-8	・会話を通して気持ちが通じ合う喜びを味わえるように配慮していますか。	4	17		3
7-9	・自分から挨拶をしていますか。	20	4		

《7の評価》

- ・幼児では、元気よく挨拶が出来るように保育士が率先して行う事で子どもたちも出来るようになった。自分の気持ちを言葉で伝えられるようにクラスで取り組み、少しずつ自分の言葉で伝えられるようになった。
自分の主張のみならず、相手や保育士の話を聞く姿勢をしっかりと身につけられように保育の中で伝えていった。
- ・乳児では、保育士同士が進んで挨拶をし、遊びの中でも「ありがとう」等の言葉を一緒に伝えながらやり取りをした。
様々な絵本を用意し、言葉に触れる機会を作った。
手遊びやリズム遊びを繰り返し取り入れることで、子ども達も覚えできるようになった。今後も様々な遊びやリズム遊びを伝えていきたい。

8、子どもの発達援助・表現

	評価基準	A	B	C	未回答
8-1	・水、砂、土、紙、粘土など自然の素材に触れて楽しむ機会をつくっていますか。	7	12		5
8-2	・音楽に合わせてリズム遊びや踊ったりして楽しめるよう援助していますか。	7	12		5
8-3	・様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気付いたり、心地よさを感じる機会を作っていますか。	6	14		4
8-4	・心を動かす出来事に触れ、豊かなイメージを持てるような機会を作っていますか。	4	12	2	6
8-5	・道具の正しい使い方を一人ひとり丁寧に教えたり、見守ったりしていますか。	5	13	2	4
8-6	・感じたことや考えたことを、自由に表現できる機会をつくっていますか。	3	13	3	5
8-7	・素材や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置くなど工夫していますか。	5	8	4	7
8-8	・自分のイメージを言葉などで表現したり、演じたりして楽しむ機会を設けていますか。	1	9	7	7
8-9	・ごっこ遊びを発展させる為にどのようなことをしていますか。				
8-10	・子どもの作品が保育の中に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱っていますか。	5	10	3	6
8-11	・絵本の読み聞かせや紙芝居など保育に積極的に取り入れていますか。	13	5	2	4
8-12	・身体を使った様々な表現遊びを取り入れていますか。	6	13		5
8-13	・みんなで一緒に表現することの楽しさを味わえるようにしていますか。	5	11	2	6

《8の評価》

- ・幼児では、様々な教材使用して製作を楽しめるように心掛けた。又、様々な道具や玩具を用意した。
保育内容を充実させる為に、何が出来るかを考え調べたり他の保育士の保育を見て良いと思う所を取り入れて実践していった。
- ・乳児では、子ども達が自己表現を楽しめるように音楽を流したり、模倣遊びで身体を使った遊びを取り入れたり、様々な素材を用意して遊べるようにした。

9、乳児保育

	評価基準	A	B	C	未回答
9-1	・授乳は抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながらゆっくりと飲ませていますか。	6	4	2	12
9-2	・離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っていますか。	8	4	2	10
9-3	・おむつ交換時には、やさしく声をかけたり、スキンシップを行って行っていますか。	12	5	1	6
9-4	・一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠をとることが出来るように、配慮していますか。	6	10	1	7
9-5	・外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けていますか。	3	13		
9-6	・喃語には、ゆったりと優しく応えたり、触れ合い遊びを行って行っていますか。	7	10	1	6
9-7	・たて抱き、腹這いなど子どもが様々な姿勢をとれるようにしていますか。	9	3	1	6
9-8	・寝返りの出来ない乳児を寝かせる場合には安全に配慮し（仰向け寝や睡眠時の姿勢等）、呼吸と体位のチェックを行い、記録をしていますか。	8	8	1	6
9-9	・事故予防に努めた保育を行って行っていますか。（おんぶ、抱っこ、ベビーカー、おむつ交換、シャワー時など）	3	9	1	6
9-10	・継続的に同じ保育士と関わりが保てるよう配慮して行っていますか。	5	12	1	6
9-11	大勢の子どもを保育する時でも、独占したがる子どもの気持ちも十分に満たすなど個別対応の努力や工夫ができますか。	4	13	1	6
9-12	「できないやって」と甘えてくるときは、その都度気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	10	8		6
9-13	子どもと会話をする時に、その子の目線に合わせてゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感して行っていますか。	8	11	1	4
9-14	自分の表情に配慮しながら、子どもに分かるようにゆっくり、はっきり、穏やかに、具体的な短い言葉で話しかけて行っていますか。	8	12		4
9-15	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉かけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	7	11		6
9-16	・探索行動が十分行えるよう、安全に気を配りつつ環境を整えたうえで、子どもが要求する行動を容認できますか。	3	14		7
9-17	子どもが「嫌だ」という内面の気持ちに配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしていますか。	5	10	2	7
9-18	自分の思い通りにならず怒ったり泣いたりする子どもに対して、丁寧に話して聞かせたり、気持ちを切り替える時間を取り待つことができますか。	5	12	1	6

《9の評価》

- ・一人ひとりの子どもと丁寧に向き合い、1対1で関わる際は、個人もクラス全体も安全に安心に過ごせるよう職員同士で声を掛け合い環境等を整えていった。
- ・おむつ交換や授乳中も子どもに声をかけることで良い影響が出ていると保育の中で感じた。
- ・一人ひとりの成長に合った援助を行ってきた。

10、延長保育

	評価基準	A	B	C	未回答
10-1	・家庭的な雰囲気が感じられるように配慮していますか。	12	5	1	6
10-2	・好きなことをしてくつろげる空間や遊具を用意していますか。	11	6	1	6
10-3	・一人ひとりの子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、 ゆっくりと接していますか。	9	8	1	6
10-4	・異年齢の子ども同士で遊べるように配慮していますか。	9	10		5
10-5	・子どもの連絡事項を、職員間でどのように引継ぎを行っていますか。				
10-6	・お迎えが遅くなった子の不安な気持ちを汲んで対応していますか。	12	5		7

《10の評価》

- ・幼児では、落ち着いて遊び安心して過ごせるように環境を整えた。
- ・乳児では、子ども達が遊びを楽しめるような環境作りをした。又、異年齢児との交流も楽しく出来るよう見守った。
お迎えがくるまで、ゆったりと異年齢と過ごせる環境も作った。

11、障害児保育

	評価基準	A	B	C	未回答
11-1	・障害のある子どもの保育環境を整え、保育内容や方法に配慮していますか。	2	6	4	12
11-2	・障害児保育にちなんで定期的に話し合う機会を設けていますか。	1	4	7	12
11-3	・障害児保育に関する研修を受けていますか。	1	3	8	12
11-4	・医療機関や専門機関から相談や援助を必要に応じて受けていますか。		6	6	12
11-5	・機関からの情報をどのように活かしていますか。		4	6	14
11-6	・障害のある子どもの保護者との話し合いの場を設けて、不安や悩みなどの気持ちの援助に心がけていますか。	1	6	5	12
11-7	・就学など保護者の求めに応じて相談にのったり、情報を提供したりしていますか。		6	6	12
11-8	・クラスで障害のある子どもの保護者のニーズにどのように対応していますか				
11-9	・障害のない子どもの、障害児への関わり対して配慮していますか。	3	6	3	12

《11の評価》

- ・クラス外の支援が必要な子への配慮の仕方や関わり方が分からない事もあったので、職員会議などで園全体で話し合いする場を設け保育力の向上に繋がるようにしていった。
- ・研修等で学んだ内容を活かすことがあまり出来ていなかった。定期的に学んだ内容を各クラスや会議等で話し合う機会をもうけ、保育の場でいかせるように今後していきたい。
- ・クラスで気になることがあった際は、職員間で話し合うようにした。

12、保護者支援

	評価基準	A	B	C	未回答
12-1	・子育てを支援する役割を常に意識していますか。	13	8		3
12-2	・保護者の子育てに対する不安や悩みを受け止め、適切に助言、援助していますか。	6	12		6
12-3	・保護者と子どもの成長や子育ての喜びが共有できるような配慮しているか具体的に記入してください。				
12-4	・一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか。	6	7	5	6
12-5	・相談内容など、人に聞かれないで相談出来るように配慮していますか。	7	9	2	5
12-6	・保護者からの相談内容など自分一人の問題にしないで、園長、主任、先輩などに相談していますか。	14	5		5
12-7	・子どもの体調が良くない時など保護者に電話をする際、細かい配慮を具体的に記入してください。				
12-8	・連絡帳等で保護者がその内容を理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。	5	10	2	7

《12の評価》

- ・登園降園時に、保護者と子どもの成長や様々な様子等を話すことで、保護者と一緒に喜べた。
- ・担任同士で密に連携とり情報共有を徹底した。保護者と登園降園時の会話やハグノート、個人面談などで情報交換することで、信頼関係を築いていくことが出来た。
- ・保護者からの相談はクラス内で話し合い、その後主任・園長に報告したうえで保護者へ伝えていった。
- ・口頭やハグノートで丁寧に日々の成長を伝えていくことで、保護者から日々のやり取りが出来ていると言ってもらえた。

13、地域交流

	評価基準	A	B	C	未回答
13-1	・地域交流の行事の際、積極的に担当に参加したり担当の手伝いをしていますか。	6	7	3	8
13-2	・実習生や体験学習生を受け入れた際には、その目的や意義を理解し、指導をしていますか。	7	11	2	4
13-3	・散歩など子どもが地域の人々に接する機会を作っていますか。	3	9	6	6

《13の評価》

- ・幼児では、園外保育で地域の方と元気よく挨拶を交わしテイクことを今後も続けていく。
- ・乳児では、ふれあう会で地域の方と短い時間だが交流をもつ事が出来た。
園内で行った「ほのぼのくらぶ」や「にこにこくらぶ」で地域の方と触れ合うことが出来た。
園外保育で地域の方と挨拶を交わし交流をもてた。

14、健康及び安全の実施体制

	評価基準	A	B	C	未回答
14-1	・子どもの日々の健康状況を把握し、保育していますか。	13	7		4
14-2	・子どもの与薬を依頼された時、園の対応を理解して対応していますか。	12	5	1	6
14-3	・子どもの体調不良や怪我等情報を職員間で共有していますか。	16	4		4
14-4	・子どもが健康な生活リズムを身につけるように保護者へ啓発に努めていますか。	5	12	1	6
14-5	・保育室の遮光や換気や温度、湿度に配慮して保育していますか。	8	12		4
14-6	・玩具、遊具は、消毒したり衛生的に配慮し、破損の有無を確認しています（屋外も含む）	9	11		4
14-7	・施設、設備の安全点検を点検マニュアルに沿い、不都合の箇所は対策をとっていますか。	10	10		4
14-8	・子どもが危険な場所や遊び方がわかり、安全に気をつけて行動するように働きかけていますか。	9	9		6
14-9	・交通安全の習慣が身につくように日頃から指導していますか。	4	11	3	6
14-10	・不審者が侵入したとき、自分はどのように対応するか分かっていますか。	7	12	2	3
14-11	・感染症に対するマナーやエチケットを意識して保育をしていますか。また、子どもたちにも身につくように工夫をしていますか。	11	11		2
14-12	・手洗い場やトイレは、保育中も時折り清掃し、不快なおい等出ないようにしていますか。	14	8		
14-13	・季節に合わせたインテリアをしたり、音楽や保育士の声など音にも配慮していますか。	5	12	3	4

《14の評価》

- ・幼児では、身近な危険や安全についての話を子どもたちとし、自分の身の守り方が身につけていけるように保育の中で行った。季節に合わせたインテリアの配慮が出来ない時があった。簡単にできるインテリア等を考え、出来なかつただけで終わらせないようにした。
- ・乳児では、子どもたちの安全を第一に考えた保育環境を作り、玩具点検・消毒を毎日行った。登園時降園時に、口頭やハグノートにて子ども一人ひとりの体調などを保護者と確認し連携をとった。0歳児ではこまめに玩具の消毒や室内の清掃を丁寧に行った。また、歩行がおぼつかない時期にケガをしてしまうことがあり、ケガを繰り返さぬよう職員同士で声を掛け合うようにした。

15、保育内容と資質向上

	評価基準	A	B	C	未回答
15-1	・子どもを主体とした視点で保育していますか。	16	5		3
15-2	・保育計画のねらい、内容を職員や保護者にわかるように伝えられますか。	10	6	2	6
15-3	・園目標や年度の目標を明確にして保育していますか。	5	15		4
15-4	・保育計画が適切であったか振り返りを行い改善していますか。	6	11	1	6
15-5	・会議や打ち合わせなどで、質の向上につながる発言をしていますか。また、他の意見を聞き気付いたり学んだりすることはあります	7	12	1	4
15-6	・あなたの役割、周りの職員の役割を理解していますか。	10	13		1
15-7	・クラスでの連携、全体での連携を意識してどのような行動をとっているか具体的に記入してください。				
15-8	・あなたは子どもの最善の利益を尊重した保育をしていますか。	15	7		2
15-9	・新採用の職員、あるいは後輩、周りの職員に配慮し、温かい人間関係をつくるようにしていますか。	6	18		
15-10	・自分の意見や考えと違う結論が出たときも、それに従って気持ち良く協力し実行できますか。	15	8	1	
15-11	・指示がどういう意図で出されているかわからない時、質問したり意見を言ったりできますか。	15	8	1	
15-12	・自分の担当ではなくても、教材や教具、備品や施設の破損に気付いたら進んで整頓や修理し報告していますか。	8	15	1	
15-13	・常に子どもにとってどうかを考えて保育をしていますか。	10	12		2
15-14	・研修で得た内容等、他の職員にわかりやすく説明し意見交換をするために役立っていますか。	6	15	1	2

《15の評価》

- ・クラス運営や子どもの成長に関する事等を担任同士で話し合いを行い、その中で解決出来ない内容は幼児リーダー・主任・園長に相談をして解決していった。
- ・報告・連絡を密に行い、全員が把握出来るようにしていった。又、その日の反省点と翌日の打ち合わせの時間を毎日設けた。
- ・子どもの成長に合わせて、その時何が必要なのか、どんな対応が良いのか等色々な事を考えていった。
- ・立場は関係なく、常にアドバイスを聞く姿勢を大切に困った時は声を上げ、相談できる人を作っていく事が大切と感じた。
- ・相手の話には耳をきちんと傾け、相手の考えや思いを知っていけるように話すことが大切と感じた。
- ・職員一人ひとりが子ども達の最善の利益を考えながら保育を行い、職員同士の意見の相違が出た際はその都度しっかりと話し合い共通理解できるように行った。
- ・子どもの一人ひとりの成長に合った、保育や目標を考え子どもが主体的に過ごせる保育を行った。
- ・職員同士が思ったことを伝え合える環境を作っていた。